今月の特集

安全・安心な年末年始を／読書を楽しもう

トピックス 港北オープンガーデン参加会場募集／ごみの出し方・減らし方ワンポイント

●こうほくインフォメーション ●健診などの日程

安全・安心な年末年始を

年末年始は火災や、やけどといったけが、餅を喉に詰まらせる事故などが起こりやすい時期です。火災やけがなどに気をつけ、年末年始を安全・安心に過ごしましょう。

火災を防ごう

今年の区内の火災原因の1位は「放火」、2位は「たばこ」です。

家の周りに燃えやすいものを置かずに整理整頓する

ごみは決められた日時・場所に出す

寝たばこは絶対にしない

調理中はその場を離れない

ストーブの周りに燃えやすいものを置かない

おやすみ前・お出かけ前には、もう一度火の元の確認をしましょう!

消防特別警備 12月20日(土)～27年1月5日(月) 消防車両などによる広報・夜間巡回警戒を強化します。

餅での窒息に注意!
重大な事故につながります。
気を付けましょう。

けが・事故を防ぐためのポイント

餅やゼリー、バナナ、すしなどが喉に詰まってしまった

予防 喉に詰まりやすいものは小さく切って、よくかみましょう

応急手当 119番通報をするとともに背中（肩甲骨（けんこうこつ）の間）を手のひらの付け根で何度もたたいて、詰まったものを取るように努力してください。

子どもがボタン電池を飲み込んでしまった

予防 乳幼児は、物を飲み込んだり、鼻や耳に入れたりするので、周囲の方は日頃から注意してください

ボタン電池を飲み込んだ場合は、すぐに救急車を呼びましょう。

鍋や熱い飲み物を倒してやけどしてしまった

予防 テーブルの中央に置くなど、子どもの手が届かないよう工夫しましょう

電気ストーブに長時間同じ姿勢で暖まり、足をやけどしてしまった

予防 ストーブなどの暖房器具は、取扱説明書をよく読み、正しく使いましょう

応急手当 患部を水で冷やし、水ぶくれは破かないように。皮膚が焦げていたり、白くなって痛みを感じない場合は、119番通報してください。

けがの事例と予防対策をイラストで紹介する冊子「ケガの予防対策」を配布しています。
配布先：港北消防署、各消防出張所など

救急医療情報相談ダイヤル ☎ #7499

※携帯・PHS・プッシュ回線以外 ☎ 227-7499

→ プッシュ 1 **救急医療情報センター**
時間外診療ができる医療機関の案内（無休、24時間）

→ プッシュ 2 **小児救急電話相談**
看護師による子どもの急病に対するアドバイス
（平日：18時～翌9時、土曜：13時～翌9時、日曜・祝日・12月29日～1月3日：9時～翌9時）

横浜消防マスコットキャラクター「ハマくん」

休日や夜間の突然のけが・病気や子どもの急病で困ったときは、救急医療情報相談ダイヤルが便利です。「救急車を呼ぶほどではないかも」というときにご利用ください。

港北消防団は港北区を守っています! ― 消防団では、地域の有志の皆さんが災害から地域の安全を守る活動をしています

港北消防団長

救助資機材の取扱訓練

放水訓練

車両訓練

小学生への防災授業

救急教室

消防団員募集
18歳以上の区民であれば、どなたでも入団できます。港北区をともに守ってくれる皆さんの入団をお待ちしています。

●問合せ 港北消防署 ☎・fax 546-0119